

# 海保のおシゴトって大変

2008.10.5

【豊見城】「FMとよみ」(安慶名雅明社長)での職場体験で、伊良波中二年生の女生徒二人が九月三十日、第十一管区海上保安本部那覇航空基地を訪ね、職員の仕事ぶりを取材した。

宮城小波さん(14)と當銘晃彩さん(14)。整備士の早川真吾さんから、同基地が海上での災害救助や国境監視など、海にかかわるあらゆる業務に当たっていることについて説明を受けた二人は、ジェット機「ファルコン900」やプロペラ機「YS11」の機内設備を見学した。また、最新鋭ヘリコプター「アグスタ139」を使ったつり上げ救助

## 伊良波中生2人、現場取材

### 「FMとよみ」職場体験

も体験した。

通信士や飛行士とのインタビューに臨んだ二人は、就職した動機や仕事の魅力などを質問した。宮城さんは「保安庁の飛行機には普通の旅客機にない多くの工夫があることが分かった」と感想を語った。業務上の書類が、ほとんど英語で書かれていることを知った當銘さんは「保安庁で働くにも、英語の勉強が必要なのは意外な発見だった」と語った。

取材した内容をまとめた二人は二日の同局の生番組に出演し、保安庁が果たす役割をリッスナーに紹介した。



海上での救助について説明を聞く當銘晃彩さん(左から2人目)と宮城小波さん(同3人目)＝那覇市・第11管区海上保安本部那覇航空基地